

# ハイキュー ～Another Story～

研磨

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

私のためと思ってくれる月島。

いつも笑わせてくれた赤葦。

先輩でも愛おしいといつも見てくれる菅原。

私の辛い過去を知ったらどうなるのか？

# 目次

私の辛い過去	1
鳥野バレエ部の気持ち	6
バレエ部の気持ち2	11
焦る気持ち with 月島	15



## く私の辛い過去く

今から8年前。私が宮城から転校する日、

貴方は私のために泣いてくれました。

私の幸せが消えたあの日。

貴方を崩れるような泣き顔にしたくない。

ずっと笑っていてほしい。

くらnsideく

高校1年生。春。

今から8年前私は宮城から東京へ親の都合で引越した。

東京へ行くと人見知りな私を救ってくれた赤葦と木兎。

2人は私のために笑わせてくれた。中学3年生までは。

その時まで私はずっと母か虐待を受けていた。

ずっと苦しかった。泣きたかった。だから私は

1人でここにやってきた。

赤葦と木兎には黙ってた。迷惑をかけたくなかった。

最後に書いた手紙を読んできてくれただろうか。

あ、またやってしまった。私の悪い癖。

すぐ暗く考える。

今日は東京から宮城に来て久しぶりに学校に行く。

あの時の彼はいるだろうか。

もう7時か。

「行つてきます……」

lin 学校ー

らん 「失礼します。今日からこの学校に編入した及川らんです。」

先生 「はい。あなたが及川さんね。貴方の担任のーよ。」

らん 「よろしくお願いします。」

先生 「じゃあ教室へ行きましょうか。みんなが待つてるわ。」

らん 「はい！」

く月島 side く

今日転校生がやってくる。女子らしい。

ま、僕は興味ないケド。でももし、あの時の彼女なら……

ガラガラッ

先生「席つけー。今から転校生を紹介するよー。」

女1「どんな子かなー？可愛い子だといいな！」

男1「早く紹介して下さいー！」

先生「静かに！……じゃあ紹介するぞ。及川さん入って。」

タツタツタ

らん「えーつと……及川らんです。元々宮城県に住んでいて、

今はこつちに戻ってきました。いろんな人と仲良くしたい

です！よろしくお願いします。」ニコッ

え……あの時と変わらない肩につくほど伸びた綺麗な黒髪。

優しい笑顔。まさかあの時の……？

月島「らん……？」

らん「え？」

気づいた時には名前を呼んでいた。

くらんsideく

あの時と変わらない綺麗な黄色い癖っ毛。

白いヘッドホン。間違いない。

らん「久しぶり。月島君。」

先生「知り合いなのか？じゃあ席は月島の隣だな。

月島は、及川さんに色々教えてやってくれ。」

月島「わかりました。」

タツタツタ

らん「よろしくね！」ニコツ

先生「よし。じゃあ質問タイムな。」

答えづらい質問はしないように！」

く月島 side

男1「彼氏はいますかー？」

らん「いません！」

女1「えー！綺麗なのに以外！」

らん「綺麗って程じゃないよ。でもありがとう！」ニコツ

全員「(天使か！)」

女2「じゃあ、部活は!？」

らん「んー。中学ではバレー部のマネージャーしてたし、



男バレのマネージャーやろうかな。」

え……：：：らんがマネージャー？ 凄い嬉しいんだケド……

山口もさつきから赤くなったり嬉しそうだし……

でも昔から変わらないこの気持ち。絶対譲らない。

# く鳥野バレー部の気持ちく

くらんsideく

キンコンカンコンコン

らん「んーっ……」

月島「やつと終わったネ」

らん「うん。次は部活？」

月島「うん。もう入部届は出した？」

らん「まだだよ。主将さんにだそうと思って！」

月島「そつか。じゃあ一緒に行こ？場所わかんないでしょ。」

山口「ツツキー!!一緒に部活行こ!!」

月島「うるさい山口。」

山口「ごめんツツキー！」

月島「勝手にすれば？(フイツ)」

く月島sideく

月島「勝手にすれば？（フイツ）」

（2人つきりで行けるはずだったのに……）

らん「ありがとう！もちろん山口君もね！」ニッコツ

山口・月島「／／／／／（可愛すぎか）」

らん「2人とも？顔赤いけど大丈夫？保健室行く？」

月島「大丈夫。部活行こ。（グイツ）」

山口「まってツツキー！」

i n 体育館

？「おい！フライングだぞ！」

？「うっせー！ ボケエ！！」

らん「なんか聞こえてくるよ？」

月島「あー。王様とちびちゃんか笑」

山口「教えてあげるよ。ついてきて！」

らん「うん！行こ！月島君！」（手を繋ぐ）

月島「／／／／／」

山口「おーい！日向ー！影山ー！」

？「どーした山口？」

？「なんかあったのか？」

山口「よし。えーっとねオレンジ色の髪の毛の方が日向。つり目の黒髪ストレートが影山だよ。」

らん「そうなんだ！よろしくね！影山くん！日向君！」

日向・影山「よろしくな。」

月島「さて、紹介済んだとこで澤村さんとこ行くよ。」

山口「そろそろ来るもんね！」

日向「その子は？何ていうの？」

月島「この子はらん。詳しいことはあとで紹介する。」

影山「わかった。」

日向「澤村さん、菅さん、旭さん！ちわーっす！！」

月島・影山・山口「ちわっす。」

らん「こんにちは！」

澤村「ちわっす！えーっとこの子は誰だ？」

月島「編入生の及川らんです。マネ希望で来ました。」

澤村「おー。そうか！よろしくな！俺は澤村大地だ。

おーい！清水ー！」

清水「ん？どうしたの？」

澤村「こいつは清水。マネージャーだ。色々教えて貰ってくれ。」

らん「はい！ありがとうございます！」ニコツ

清水「よろしくね。わからないことはなんでも聞いてね。」

らん「わかりました！」

？「ちわーっす」

日向「田中さん！西谷先輩！ちわーっす！」

西谷「おう！翔陽！ん…………？」

田中「どうしたノヤツさ…………」

西谷「おい…………。あの綺麗な潔子さんの隣の人は誰だ…………？」

日向「マネ希望のらんですよ！」

西谷「龍。言いたいことはわかるな？」

田中「おうよ。ノヤツさん。」

ダダダ（パシッ）手を覆う

らん「えっ？」

西谷・田中「潔子さんと同じく綺麗だな！これから部活にはいつt……」

清水「うるさい。静かにして。」

西谷・田中「はい……」

大地「とりあえず自己紹介からするか……」

n  
e  
x  
t  
↓

## くバレー部の気持ち2く

くらんsideく

大地 「1年から名前とポジション言っつけてけー！」

1年 「オスっ！／っす！」

日向 「日向翔陽だ！ポジションはMB！よろしくな！」

月島 「ちびなのにねー笑」

日向 「うるさい！」

大地 「はいはい次！」

影山 「俺は影山飛雄だ。ポジションはセッター。よろしく。」

山口 「僕は山口忠。ポジションはMB。よろしくね！」

月島 「僕は月島萤。ポジションはMB。よろしく。」

大地 「次は2年！」

田中 「俺は田中龍之介！WSな！よろしくな！らん！」

西谷 「俺は西谷夕。烏野の守護神のリベロだ！よろしくな！」

縁下 「俺は縁下力。WSだ。よろしく。」

木下「俺は木下久志だ。WS。よろしくな！」

成田「俺は成田和仁。MBだ。よろしく。」

大地「次3年！」

清水「清水潔子よ。マネージャーだからわからないことは聞いてね。よろしく。」

東峰「俺は東峰旭だ。ポジションはWSだ。よ、よろしく。」

大地「弱々しいな。ヒゲチヨコは。烏野のエースなのに。」

東峰「仕方ないだろ！」

菅原「俺は菅原孝支。セッターだべ。よろしくな！ちなみに副主将！」

大地「最後は俺。澤村大地だ。ポジションはWSだ。よろしく。この部の主将だ。次は自己紹介よろしく。」

らん「はい！及川らんです！出来ることはできる限りしますのでよろしくお願ひします！中学校ではマネージャーをやりつつポジションはMBでした！もし相手が必要な私にも是非相手をさせてください！

よろしくお願ひします！」

西谷「綺麗な上にバレーまで……」

田中「全力で守るぜノヤツさん……」

大地「さて、今日はとりあえず清水と一緒に仕事をしてみてくれ。」



らん「はい！わかりました！」

大地「じゃあアツプしに行くぞ！」

全員「オスっ！／っす！」

くしばらくして休憩時間く

清水「凄いね！ちゃんと作れてるし、らんちゃんせつかくだから

みんなの所にスポドリ持ってってあげて？私はタオル持ってたから。」

らん「わかりました！」

く月島 side く

月島「暑つつ……」

山口「そうだねツツキー。やっと休憩だよね。」

月島「早く休もう……」

ドサツ（腰掛ける）

西谷「らんー！スポドリくれ！」

らん「はい！どーぞ！」

西谷「さんきゅー！ゴクツ　うまい！ちゃんと作れてんな！凄いぞ！」

ナデナデ」

らん「ありがとうございます！でもほかの人にも配って来るのでそろそろいいですか

？」

西谷 「おう！」

いいな……。僕もらんをなでたい……

らん 「月島君！どーぞ！」ニコッ

月島 「ん。ありがとネ。」

らん 「菅さん！どーぞ！」ニコッ

菅原 「さんきゅー！ゴクッゴクッ 上手いな！」ギュー

全員 「!?」

n e x t ↓

## 〽焦る気持ち with 月島〽

〽月島 side 〽

菅原 「さんきゅー！ゴクツゴクツ上手いな！」ギューツ

全員 「!?」

月島 「菅さん。何してるんですか。」

菅原 「何って。ハグだよ。見りやわかるべ〜?」

らん 「あわわわ……// // //」

月島 「らんが壊れるんで離してください。」

菅原 「あー。笑ごめんなー。笑」

らん 「ボンッ」

清水 「あ！らんちゃん！大丈夫!?!」

月島 「僕が保健室連れてきます。」

大地 「おう。頼む。」

菅原 「俺も行こうk 「いや、いいです。」

月島 「それじゃ。よいしょっ……と」 テクテクテク

i n 保健室

らん 「んっ……」

月島 「起きた？」

らん 「うん。つてなんでお姫様抱っこしてるの!？」

月島 「こう持つしかなくて。嫌？」

らん 「そんなことないけど……／＼／＼／＼」

月島 「とりあえず下ろすよ？」

らん 「うん。ありがとう。」ギシッ

月島 「さっきの嬉しかった？」

らん 「え？」

月島 「だから。菅さんに抱きつかれたの。」

らん 「嬉しいっていうかびっくりした。」

月島 「そっか。じゃあさ、僕もしたいこととしていい？」

らん 「ん？いいよ？何すればいい……」ギューッ

月島 「少しこのままでいさせて。」

らん 「う……ん／＼／＼／＼」

2人「……………」

らん「もう……いい？」

月島「うん。ありがとネ」

らん「もう戻ろつか。」

月島「もう大丈夫なの？」

らん「うん。大丈夫。」

月島「じゃあ行くよ。」グイッ

らん「／／／／／」

in 体育館

月島「今戻りました。」

大地「おう。今日はもう終わりだしな。」

月島「明日はちゃんと参加します。」

大地「わかった。集合ー！ー！」

しばらくして

月島「らん。帰るよ。」

らん「え？いいの？」

月島「気づいてなかったの？トラック来て、引越しか。って思ってたら隣、らんの家だっただけだケド。」

らん「そうなんだ！じゃあ一緒に帰れるね！」

山口「ツツキー！帰ろー！」

月島「うるさい。山口。」

山口「ごめんツツキー！」

2人かもって思っただけだケド……

in 帰り道

山口「じゃあ！今日こっち行くから！」

月島「嶋田さんどこ？」

山口「うん！じゃあね！」

らん「バイバイ！」ニコツ

月島「じゃあね」

テクテクテク

月島「あのさ、明日から一緒に学校行かない？」

らん「え？いいの？」

月島「いいよ。家隣だし。」

らん 「うん！ありがとう！」ニコッ

月島 「うん。(可愛すぎ／＼／＼／＼)」

らん 「大丈夫？なんかあった？」

月島 「大丈夫！」

らん 「そういえば月島君は好きな人とかいるの？」

月島 「!? どうしたのいきなり……」

らん 「聞いてみたくてさ。いる？」

月島 「いるよ。らんは？」

らん 「私はいない。」

月島 「そっか。もうついたな。んじや。また明日」

らん 「また明日ー！」